



東京金山会通信 No.15

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

東京金山会の会長職が柿崎栄三さんに替わりしました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

会長代行 柿崎氏 挨拶
会員の皆様、佐藤英司金山町長はじめ町民の皆様、東京金山会への日頃のご支援に深く感謝を申し上げます。私は、この度、大場加枝子前会長の後を引き継ぐことになりました柿崎栄三です。7年間に亘り会長を務められた大場前会長のご尽力に心より感謝申し上げますとともに、経験不足な私にお力添えを賜りますようお願い致します。私は、大場前会長のご主人であり本会創立当時から役員をされていた大場辰男先生(故人)のお誘いで総会に参加し、その後会の運営のお手伝いをしてまいりました。また、大場辰男先生は私の金山中学校時代の恩師でもありましたので、金山会の運営につきましても多くのご指導を賜りました。私はもとより微力ではありますが大場辰男先生のご指導と大場前会長のご意志を受け継ぎ、会の発展とふるさとの応援のために力を尽くす所存でございます。

【都会でがんばる金山町出身者】
都会での生活を夢見て故郷をあとに、都会での荒波にもまれながら故郷を思い、がんばっている皆さんを紹介していきます。3人目は長倉靖さんです。

こんにちは!! 稲沢の長倉です!! 今は川崎市に住んでいます。金山高校卒業後、仙台の専門学校に行き、卒業して整備士をやっていましたが、お酒好きが高じて今は、東京都町田市の飲食店で働いています。結婚もして、三児の父です。皆さん町田に来られたら、是非遊びにいらして下さい☺



ふんばい

金山杉俳句会報 第四〇回

鶯の声に目覚めし山戦ぐ
籠り居て外はいつしか落花かな
阿部 サタエ

念入りに窓拭き終えて初音聴く
三密を守り黙して草を引く
鶴沼 よし子

マスクして夫に寄り添ふ花の道
花筏雑魚と流れて池の中
高橋 洋子

花筏濠の水面を埋尽す
菊根分け水を優しく使ひけり
岸 あき子

蒲公英の絮の飛ぶ先ちぎれ雲
花片を乗せ流しやる笹の舟
星川 きえ子

押しばなや手折るを詫びる白牡丹
藤棚や亡夫の気配を背に感じ
荒屋 阿部 勝子

四方若葉両手広げて山に酔ふ
芍薬を手向けて偲ぶ母の影
荒屋 関 喜美子

子らの足忙しくなりぬ夕立雲
土破り筍いでて鉄立たず
菅 越 庄司 けみ子

母の日や西方浄土に手を合はせ
不揃ひの手作りマスク花は葉に
七日町 青柳 キエ子

ひとひらの余花を惜しめり新天地
鈴蘭の香に誘はれてコロナ去り
七日町 柴田 栖静

胴吹きや赤いドレスの木瓜の花
落ち椿足蹴にされて川下る
羽場 坂本 徳太郎

恙なく巢立ちや軒の燕の子
空梅雨の天を逃さずペンキ塗り
上 台 阿部 一步

予約なし軒に居座る夏燕
コロナ禍や川瀬に見えぬ幟鯉
七日町 村松 奈風

こんには!! 稲沢の長倉です!! 今は川崎市に住んでいます。金山高校卒業後、仙台の専門学校に行き、卒業して整備士をやっていましたが、お酒好きが高じて今は、東京都町田市の飲食店で働いています。結婚もして、三児の父です。皆さん町田に来られたら、是非遊びにいらして下さい☺

長倉さんご家族

「森の子ども図書コーナー」 No.173 交流サロンぽすと内



「ゾットする怪談えほん
おいで…」
(有田奈央/文 軽部武宏/絵
新日本出版)

みどり公園のトイレにはゆうれいがでるといううわさがある。ある日、ぼくはさんぽのとちゅうでおなかがいなくなった。ゆうれいがでるなんて、ただのうわさだ。ゆうれいなんてこわくない。「うわっ!!」あ…なーんだ。しずくがおちてきただけか。ほら、だいじょうぶ、だいじょうぶ。「お い で……」
これから何かが起こりそうな薄気味悪いタッチの絵と、空気の淀みまで表現した文で、身近に潜む恐怖へ引きずり込まれます。最後まで読むと、夜、一人でトイレに行けなくなっちゃうかも…。



※()内作者名

- 逆ソクラテス / (伊坂幸太郎) わかれ縁 / (西條奈加)
- 残念な死に方事典 / (小和田哲男)
- だから拙者は負けました。日本史の敗者のしくじりと言いつ / (本郷和人)
- ほどなく、お別れです。それぞれの灯火 / (長月天音)

「図書室だより」 中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

「ねなしぐさ 平賀源内の殺人」
(乾緑郎/宝島社)
安永8年11月21日早朝。神田橋本町の自宅で源内が目を覚ますと、男の亡骸があった。駆け付けた杉田玄白の目には、脇差を手に持ち、茫然自失とする源内の姿が。何があったのかと問い詰めるが、記憶がないと首を振るばかり。殺人の容疑で牢屋敷に入れられてしまった源内は、やがて獄中死してしまうが…。



「百万都市を俯瞰する江戸の間取り」
(安藤優一郎/彩図社)
江戸は軍事拠点として城の整備が進められ、関ヶ原後に武家人口・町人口が急増すると、一大消費地点として発展。遂には世界最大級の百万都市にまで成長した。そんな江戸を、江戸城、武家地、町人地、寺社地、江戸郊外地に分け、各建物の内部構造や周辺の俯瞰図を見ながら、江戸に住む人々の暮らしに迫っている。



献血にご協力ください

新型コロナウイルス感染症の予防に対応した献血体制をとっています。皆さんのあたたかいご協力をお願いいたします。

献血って?
献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんのために、健康な人が自ら血液を無償で提供するボランティアです。
献血には全血献血、成分献血があります。全血献血には400ml献血と200ml献血があり、血液中の全ての成分を献血します。成分献血には血小板成分献血と血漿成分献血があり、特定の成分だけを採血し、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法です。成分採血は身体への負担も軽く、多くの血漿や血小板を献血していただける特長があります。

7月8日(水)
10:00-11:30
13:00-15:30
金山町役場ロビー

初めての方は、本人確認のできるもの(免許証や保険証等)が必要です。献血手帳・カードをお持ちの方はご持参ください。

☎ 役場健康福祉課 健康係
☎ 52-2111 (内線264)